編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種目	学 年
103-202	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号		※教科書名	
2 東書	C II 7 0 1	All Aboard! En	aglish Communication II	

1. 編修の基本方針

国際社会を生き抜く日本人を育成するために、以下のことに留意しています。

- ①中学校までに学んだ英語に十分習熟していない生徒を主な対象としているので、基礎 ・基本からの導入について格別な配慮をすること
- ②生徒の学習意欲を喚起し、「読みたい」「考えたい」と思う題材を取り上げること
- ③コミュニケーションを図る資質・能力を育成するために、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能(5領域)の活動をバランスよく取り上げ、統合的に扱えるようにすること
- ④文法・読解にかたよらず、日常的・実践的なコミュニケーションの指導ができるよう に、無理のない手順や配列を工夫すること

基本方針

1

学習負担の少ない構成

- ・英語学習の基礎・基本の導入と学習への動機づけを図るため、本課Lessonの前に Pre-Lessonを配置しています。Pre-Lessonでは、生徒にとって身近な「今年やって みたいこと」を話題にして英語学習への導入を図ります。
- ・各Lessonで学習する文法事項を1つに絞っています。該当の文法事項を様々な形式で繰り返し学習できるようにしています。
- ・ほとんどのLessonにおいて本文は見開きで完結します。また、学習の流れが一目で理解できるレイアウトを工夫しており、前時の復習がしやすくなっています。
- ・コミュニケーション活動では細かいステップを設定することにより、学習目標に到達 しやすい配慮をしています。

基本方針

2

指導の流れが見えやすいLesson構成

- ・教師と生徒が学習目標を共有するために、Lessonのテーマについてのコミュニケーション活動に関連した学習目標、および文法事項の機能を重視した目標を扉ページに提示しています。
- ・本文の各パートに内容理解の活動を手厚く配しました。

・Lessonの本文に続くページを、「本文の復習(Review)」「コミュニケーション活動(Activity)」「文法事項(Grammar)」の3つのコーナーに分けて充実させることで、多様な指導スタイルに対応できる構成にしています。

基本方針

3

学習意欲を喚起する題材

- ・生徒が「読みたい」「考えたい」と思うような題材を用意しています。
- ・各Lessonに「Activity」を配置し、本文のテーマについてのコミュニケーション活動ができるようにしており、4技能(5領域)の統合を図ることができます。

2. 対照表

図書の 構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所の例
構成・内容 Lesson / Reading		①Lesson 1, Lesson 2, Lesson 3 ②Reading 1, Reading 2 など ③各 Lesson の Activity ①Lesson 10 ⑥Lesson 4 ⑥Lesson 6 ②全体 ③Lesson 7 ①Lesson 8

	る力を養います。(第5号) ①チョコレートがカカオから作られる過程 をたどり、現地農園が苦労する現実と改善に向けた企業の取り組みを知り、国際 社会の平和について自分ごととして考える態度を促します。(第5号)	DLesson 9
コラム類	●英語の基本的な文構造や発音などの学習を通して、日本語とは異なる特色に気づき、理解しようとする態度を養います。(第1号) ②Communication コーナーでは、実際の言語の使用場面や働きを踏まえたコミュニケーション活動を行い、実生活に生かすことができます。(第2号)	① p.19 など ② p.46 など

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

観点	留意点	具体例
①教育基本法の遵守	●この教科書では、国際社会を生き抜く日本人を育成するために、英語力の基礎を確実に身につけ、その英語力で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養おうとすることを目指しています。●世界に日本のよさを発信できる生徒を育成するために、伝統や文化に関する題材を取り上げています。	❶全体 ❷Lesson 5 など
②学習指導要領の遵 守	●Lesson の学習が進むに従って、生徒の積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されていくように、題材や学習内容が選択・配列されています。 ●生徒が自分の言葉として英語を使うコミュニケーション活動を豊富に用意する道切に伝えたりする基礎的な力を養います。	①全 Lesson
③内容・配列・分量	●言語材料や題材内容など各面にわたって、既習事項を新たな学習内容に関いて、既習事項をかに難易度を上げているため、無理なく英語力を養成できま導入、理解、復習、コミュニケーション活動で順に構成されており、効率的に学習でるように配慮されています。 ● 取り上げる新出文構造・文法事項は「1レッスン1ターゲット」とポイントが確られており、基礎的・基本的な事項が確実におさえられます。	①全 Lesson ②全 Lesson ③全 Lesson
④評価(CAN-DO)	●各 Lesson の第 1 ページの Lesson Goal (題材のテーマに関連した学習目標)を 受けて、Activity では言語活動を通して、	① 全 Lesson

	そのLessonにおける目標の到達度を確認することができます。 ②文法事項については、各 Lessonの第1ページの Target の目標に対して、Exercise Bの言語活動を通して、その Lesson における目標の到達度を確認することができます。	❷全 Lesson
⑤英語で授業を行う ための配慮	●Lesson の導入として英語を聞いてからその内容について英問英答を行う Quick Question!,本文の内容把握を英問を完成が行う Questions,本文全体の変にで行う Questions,本文全体の変にで表記を完成が支語でアウトプットする活動を充実を発言でアウトプットを活動を充実を関いて、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには	①全 Lesson
⑥英語コミュニケー ション I との関連	① it の用法や関係副詞など、英語コミュニケーション I では発展項目として軽く扱った文法事項を Lesson の Target として取り上げ、再度学習する機会を設けています。	①Lesson 3, Lesson 7
⑦伝統・文化の取り 上げ方	●日本の伝統・文化に関する話題を取り上げ、我が国の伝統・文化への意識を高め世界に発信できるようにしています。	①Lesson 5
⑧自然科学の取り上 げ方	●英語科にふさわしい意味のある切り口で取り上げられるよう、特殊な語彙や表現による負担に配慮して、題材選定をしています。	① Lesson 4, Lesson 8 など
⑨家庭学習・自学自 習への配慮	●Word Box 1~5 を設け、辞書を引かずに 自学自習ができるように、語彙をまとめ て掲載しています。②二次元コードを使って、家庭でも本文や 単語の音声を聞くことができます。	❶Word Box1~5 ❷二次元コード
⑩文字・印刷・製本	●活字は鮮明で美しく、写真、イラストなども鮮明です。②製本は堅牢で、開きやすい様式です。❸ユニバーサルデザインの視点から図やグラフの色使いなど、色覚特性への配慮をしています。	①全体 ②全体 ③全体

1

修 趣

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	学 年	
103-202	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号		※教科書名	
2 東書	C II 7 0 1	All Aboard! En	aglish Communication II	

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ●英語の基礎・基本を確実に学習できる。
- ●「読みたい」「考えたい」という生徒の学習意欲を喚起する。

学習負担の少ない構成

- ・英語学習の基礎・基本の導入と学習への動機づけを図るため、本課 Lesson の前に Pre-Lesson を配置しています。Pre-Lesson では、生徒にとって身近な「今年やってみたいこと」を話題にして英語学習への導入を図ります。
- ・各 Lesson で学習する文法事項を1つに絞っています。該当の文法事項を様々な形式 で繰り返し学習できるようにしています。
- ・ほとんどの Lesson において本文は見開きで完結します。また、学習の流れが一目で 理解できるレイアウトを工夫しており、前時の復習がしやすくなっています。
- ・コミュニケーション活動では細かいステップを設定することにより、学習目標に到達 しやすい配慮をしています。

指導の流れが見えやすい Lesson 構成

- ・教師と生徒が学習目標を共有するために, Lesson のテーマについてのコミュニケ· ション活動に関連した学習目標、および文法事項の機能を重視した目標を扉ページに 提示しています。 ・本文の各パートごとに内容理解の活動を手厚く配しました。
- ・Lesson の本文に続くページを、「本文の復習(Review)」「コミュニケーション活 動(Activity)」「文法事項(Grammar)」の3つのコーナーに分けて充実させること で、多様な指導スタイルに対応できる構成にしています。

3 学習意欲を喚起する題材

- 生徒が「読みたい」「考えたい」と思うような題材を用意しています。各 Lesson に「Activity」を配置し、本文のテーマについてのコミュニケーション活動 ができるようにしており、4技能(5領域)の統合を図ることができます。

題材一覧

Lesson	タイトル	ジャンル	言語材料	語数			
Pre-Lesson	My Plans for This Year			84			
Lesson 1	A Colorful Island	異文化理解	関係代名詞 what	143			
Lesson i	色鮮やかな家々が美しいイタリア 旅行の報告をします。	のブラーノ島を	b訪れた純が SN	NS で			
	With the Beatles	音楽,文化	比較表現	153			
Lesson 2	ビートルズの歌をリクエストする り取りです。	リスナーとディ	スクジョッキー	-のや			
	Wild Men	風習, 文化		176			
Lesson 3	ヨーロッパの祭りでよく見られる ナマハゲとの共通点を紹介します。		ノ」の由来や, E	本の			
	Little Hero		間接疑問文	169			
Lesson 4	世界一小さな鳥「ハチドリ」の生 ダ先住民族に伝わる物語を読みま			こカナ			
Lesson 5	Special Makeup in Kabuki		│to 不定詞を含 │む表現	229			
Le33011 3	日本の伝統文化である歌舞伎の歴 紹介します。			ついて			
Lesson 6	Seeds for Future Generations	高校生, 地 域社会	動詞の目的語 になる if 節	259			
Lesson o	京野菜の保存と普及を目指して設立された京都府立桂高校の京野菜クラブの活動を、部員たちがウェブ上で発表します。						
Lesson 7	Over the Wall	人物,国際 交流	関係副詞	258			
Lesson /	世界中で壁画を描く Over the Water せんしょう せんしょう せんしょう せんしょう せんしゅう せんしゅう せいしゅ せいしゅう はいしゅう せいしゅう せいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう はいしゅう せいしゅう せいしゅう せいしゅう はいしゅう はい はい はいしゅう はいしゅう はい	が,自身の活動		なに幸			
Lesson 8	Inspiration from Nature	自然, 科学技術	知覚動詞	266			
Le33011 0	自然界のデザインをヒントに開発 からモルフォチョウ、ヤモリ、ハン	スの葉の例を紹		品の中			
	The Bitter Truth behind Chocolate	食べ物, 社会問題	使役動詞	324			
Lesson 9	チョコレートの原料となるカカオ 問題と、ひとつの解決策であるビ ついて読みます。						
	Fighting Angel	人物,職業	分詞構文	338			
Lesson 10	クリミア戦争中,戦地の劣悪な病 フで根拠を示して医療現場に変革 の功績を紹介します。						

2. 対照表

	学習指導要領の内容						
	2 内容						
図書の構成・内容	(2)情報 を整理し ながら考 えなどを		(3)言語活動及び言語 の働き		3 内容の	該当箇所	配当時
	の特徴や きまり	形成し, 英語で表 現したり 伝えする たりする	1	2	取扱い		数
	ア・イ・	ア・イ・	ア	ア(ア),	0	pp.8-9	2
Pre-Lesson	ウ	ウ		イ(イ)(ウ)			
				(才)			
Lesson 1	ア・イ・	ア・イ・	イ(ア)・	ア(イ),	0	pp.10-17	5
200011 1	ウ・エ	ウ	ウ(ア)・	イ(ア)(ウ)			
Lesson 2			エ(ア)・	ア(イ),		pp.20-27	5
	_		オ(ア)・	イ(ア)(ウ)			
			カ(ア)	ア(ア),		pp.30-39	6
Lesson 3				イ(ア)(ウ)			
	-			(エ)(オ)	-		
				ア		pp.42-51	6
Lesson 4				(ア)(ウ),			
				イ(ア)(ウ)			
	_			(オ)	_		
				ア(イ),		pp.56-67	6
Lesson 5				イ(ア)(ウ)			
	_	_		(エ)(オ)	_		
	ア・イ・	ア・ウ	イ(ア)・	イ(ア)(イ)	0	pp.70-75	6
Reading 1	ゥ		ウ(ア)・	(ウ)(オ)			
			エ(ア)・	_		70.00	_
Logos	ア・イ・	ア・イ・	イ(イ)・	ア	0	pp.78-89	7
Lesson 6	ウ・エ	ウ	ウ(イ)・	(ア)(イ),			
	-		エ(イ)・	イ(ウ)	-	nn 00 400	7
Lesson 7			オ(イ)・	ア(イ),		pp.92-103	7
Lesson /			カ(ア)・カ(イ)	イ(ウ)(エ) (オ)			
	-		77(1)		-	pp.106-117	7
Lesson 8				ア(イ), イ(ア)(ウ)		μμ.106-117	'
	j	I		イ(ア)(ウ)]		

				(オ)			
				ア(イ),		pp.120-131	8
Lesson 9				イ(ウ)(エ)			
				(才)			
				ア(ア),		pp.134-145	8
Lesson 10				イ(ア)(ウ)			
				(エ)(オ)			
	ア・イ・	ア・イ・	イ(ア)・	イ(ア)(イ)	0	pp.148-153	7
Reading 2	ウ	ゥ	ウ(ア)				
Reading 2			オ(ア)・				
			カ(ア)				
	ア・ウ	ア	イ(ア)	ア(ウ),	0	p.18	2
Let's Listen 1				イ(ア)(エ)			
				(オ)			
Let's Listen 2	ア・ウ	ア	イ(ア)	ア(ア),	0	p.52	2
Lot o Lioton L				イ(エ)(オ)			
Communication 1	ア・イ・	ア・ウ	イ(ア)・	ア(ウ),	0	p.19	2
	ウ		エ(ア)	イ(ウ)			
Communication 2	ア・イ・	ア・ウ	イ(ア)・	ア(ウ),	0	p.104	2
	ウ		エ(ア)	イ(ウ)(オ)			
Word Box 1	ウ					pp. 28-29	1
Word Box 2						pp. 54-55	1
Word Box 3						pp. 68-69	1
Word Box 4						pp. 90-91	1
Word Box 5						pp.154-155	1
Getting the	ア・ウ	ア・イ	エ(ア)	ア(ウ)	0	p.105	2
Necessary							
Information			1.4.	_ (_)			_
エッセイライティ	ア・イ・	ア・イ	ウ(イ)・	ア(ア)	0	p.132	2
ング	ウ		カ(イ)				
文法のまとめ1	ウ・エ					pp.40-41	2
文法のまとめ2						pp.76-77	2
文法のまとめ3						pp.118-119	2
文法のまとめ4						pp.146-147	2
Extra Target 1	ウ・エ					p.53	1
Extra Target 2						p.133	1
						合計 10	7 時間